



Securities（有価証券）の語源は？ | 金融・経済の英単語



Securities-有価証券

security

は「安全、防御」などの意味ですが、法律の分野では「担保、抵当、保証金」などの意味があり、複数形のsecuritiesは「有価証券」を意味します。この名詞のもとになっている動詞のsecure(守る、安全にする)は、se-(離れて)とcura(心配)に分解され、後ろの部分は「世話、治療」を表すcureとなりました。分離のse-で始まるメジャーな単語としては、select, separate, seduceなどがあります。

さて secure の形容詞は curious(好奇心の強い)、名詞は curiosity(好奇心)です。また pro- (前方に)という接頭辞がついて procure(獲得する)という動詞ができています。procureは「特に努力や苦労をして手に入れる」意味で使います。名詞procurementは「獲得」のほかに「手数料」の意味もあります。insecure(確かな)という形容詞もありますね。

careも同じルーツですね。形容詞 careful(注意深い)はよく使う単語ですし、careless(不注意な)も「ケアレス・ミス」などという日本語になっています。chary(用心深い)という語もこれらの仲間です。

フランス語では、真ん中の部分の "cu" が脱落して "sûr" (確かな)となりましたが、この形容詞の女性形から sure(確実な、確信した)という英語ができました。野球で「イチローのシェアなバッティング」と言っているのはこれです。このsureにいろいろな接頭辞がついて新たな語彙が生まれています。

そのひとつが「保険」のinsuranceです。動詞は insure(保証する保険をかける)。イギリスではassuranceという語も「保険」の意味で使うようですが、これは動詞assure(請け負う、保証する)の名詞形です。insureの姉妹語と言えるのがensureで、これも「保険をかける」の意味があります。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A Online編集部